

# 地域性を読みながら事業企画 ～くつろぎカフェを通じて～

横浜市今宿地域ケアプラザ

真鍋 敦さん

## 事業目的

- 今までケアプラザに来たことのない方（とくに男性）が、ケアプラザに来やすいような魅力ある事業の企画。
- 魅力ある事業をきっかけに、ケアプラザの業務内容を知っていただく。
- 地域の方の手でサロン開設の提案。

## PROFILE



真鍋 敦さん

2008年9月より横浜市今宿地域ケアプラザ・コーディネーター。ケアプラザに在籍する前はOA機器や自動車の機械設計を担当。軽井沢にてペンション経営の経験もあり。

2010年から毎年旭公会堂にて区内全ケアプラザと一緒に「合同歌声喫茶」を実施。その際地域の方々へ各ケアプラザへの案内を行っている。合同歌声喫茶では募金活動も行い義援金は被災地へ届ける活動も。

2012年から自立支援協議会に参加。区内作業所とのネットワーク作りにも力を入れている。

## くつろぎカフェは？

「人を喜ばせること・人に喜んでもらうこと」をモットーに、自分も楽しみながら仕事をしています。

## 事業概要

平成23年度からスタートした地域包括支援センターと地域交流共催事業「くつろぎカフェ」。ドリンクとお菓子付きで午前中は利用者の皆さんにも参加していただける内容とし、折り紙・ビーズ教室・押し花・スカーフ教室・絵手紙などを実施しました。

初めの頃は女性の方には人気が高かったものの、男性の方は様子を見て帰ってしまい、また午後からの健康体操も参加者は全体的に少ないものでした。

「もっと男性の利用者を増やしたい!」。男性の方にも気軽に参加していただける魅力ある事業の企画作りの提案です。



## 担当地域について

平成13年開所、今宿地区センターとの複合館。

担当するエリアは「東希望が丘」「二俣川ニュータウン」「笹野台」の3地区（最寄駅は相鉄線二俣川駅・希望ヶ丘駅）。近隣に神奈川県運転免許試験場・神奈川県立がんセンターがあります。

世帯数：18,951世帯、人口：43,457人、高齢者率：27.0%と横浜市の平均からは比較的高いエリアです。

昭和30～40年から開発が進み、一戸建ての住宅が多いです。また比較的裕福な世帯が多いのが特徴で、施設やサービス事業所は少ないエリアです。

周辺道路は狭く山坂も多く、ケアプラザに来るのも大変な高齢者が多い状況です。ミニバス（巡回バス）要望の声も多く聞かれます。

# 事業プロセス

## ■地域性を読む

まず、区役所からいただいた「横浜市旭区高齢者実態調査・報告Ⅱ」（今宿地域）から、地域の方が何を求めているのか情報を得ました。

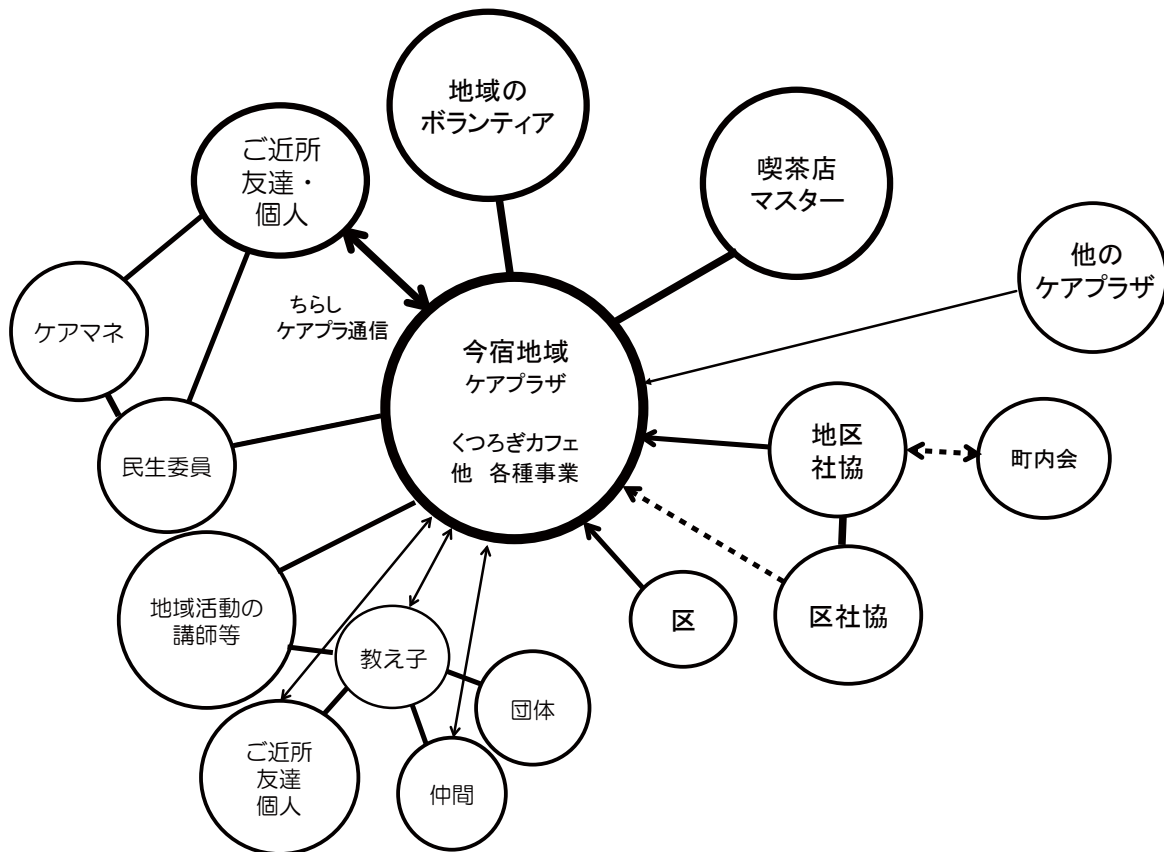
利用してみたい立ち寄り場所として「ひと休みできる場所」「コーヒー、紅茶が自由に飲める場所」「自由に入りが出来ておしゃべりができるたまり場」を求めていることを知りました。

また、比較的このエリアは富裕層が多いのも特徴のひとつです。



閑静な街並み

## ひととひとのつながりの場 くつろぎカフェ相関図



## 担当地域の人口構成

### 【今宿CP担当エリア】

今宿町、東希望が丘、今宿一～二丁目、中沢一～三丁目、中尾一～二丁目、金が谷一～二丁目、笹野台一～四丁目

年代	人口	割合
0～5歳	1,951人	4.5%
6～18歳	4,950人	11.5%
19～64歳	24,422人	56.8%
65～74歳	11,686人	27.2%
75歳～	3,440人	8.0%
総 数	43,009人	

■情報を得る

事業企画にあたって参考となる必要な情報を各所から収集しました。

- ・日本一男性が多いデイサービス『高齢者在宅サービスセンター 松溪ふれあいの家』  
⇒マージャン・5のつく日の昼食はワイン、本格的コーヒー。
- ・富裕層が多い高級住宅街で成功している『代官山ツタヤ』  
⇒「くつろぎの空間」の演出。BGMに大型ソファで読書。
- ・横浜はJAZZ喫茶発祥の地『野毛・ちぐさ』  
⇒古き良き時代の音楽（レコード）、本格的コーヒー。



野毛・ちぐさ

■事業の方向性を決める

男性利用者を増やす1つの手段として、その方々が現役だったころの流行をリバイバルさせることを考えました。

また富裕層の方を対象とすることでインスタントコーヒーはやめ、コーヒーも本格的な物（高級路線）にし、参加費も無料をやめ、ご負担いただくこととしました。

この結果、安かろう悪かろうから脱却し、ブランド力を上げることで、心地よい音楽（レコード）を聞きながら、ゆっくり本格的コーヒー（紅茶）を楽しむ、くつろぎ空間の演出を目指すことになりました。

■準備

地域の回覧板（1,600部）のチラシにて1950年～1980年代のレコードと音の出るステレオの寄付を呼びかけました。

コーヒーは喫茶店のマスターにボランティアで協力をお願いしました。

1ヶ月ほどでLPレコード600枚以上、大型ステレオ3台・コンポーネントステレオ2台、小型ステレオ2台、プレーヤー・アンプ・スピーカーなどが続々と地域から集まりました。

カフェのテーブルはマージャン台をテーブルクロスでカバーしました。

**くつろぎカフェ**

おだやかな午後  
美味しいコーヒーにお菓子を少しだけ…。  
古き良き時代の音楽を聞きながら  
ホッ…とに來ませんか？

Open  
毎月第2水曜日  
13:00 ~ 17:00  
(ラストオーダー 16:30)  
コーヒー1杯 \200  
(おかわり\100)

お持ちいただいたレコードの  
リクエストもお受けいたします。

横浜市今宿地域ケアプラザ  
TEL: 392-0309

～新しい「くつろぎの空間」を提案～

**探しています！**

☆ JAZZのLP  
(1950年～1980年)

☆ その当時のステレオ  
音の出るもの

お家で眠っているステレオ・LPなどありませんか？  
ご寄付頂ける物をお持ちの方は、お声掛け下さい。  
ご連絡お待ちしております。

平成23年5月からスタートしました「くつろぎカフェ」は毎週多の方に、ご参加いただいております。  
この中でお目を見え、今まで以上に地域の皆様にご利用いただけるかと考えています。  
古き良き時代の素晴らしい音楽を聞きながら紅茶をしたり…など  
貴宅とは一味違う「くつろぎの空間」が提供できれば、そんな幸いです！

お問い合わせ先】 横浜市今宿地域ケアプラザ 地域交流  
電話：045-392-0309



## 事業にかかわっている関係者

- ・地域包括：備品の選定から購入・食材(お菓子)等の手配。
- ・地域交流：寄付して頂いたレコードやステレオのメンテナンス。移動用代車制作。レコード管理用棚の設営など。地域へ開設の案内(けあぷら通信)。
- ・本格コーヒー：ケアプラザそばの喫茶店のご夫婦
- ・アシスタント(ボランティア)：地域の方々、デイサービスの非常勤さん



## 事業効果

3月、地域に向けてチラシを配布、テスト的に4月の第二水曜日午後から「くつろぎカフェ」をスタートしました。スタート当初から60人以上の利用者があり、多目的ホールに用意した席は満席状態。みごと狙い通り男性の利用者が一気に増えました。本格的コーヒーの香りは館内中に広がり、コーヒーの味もよく、2杯目を注文する方も続出。はじめてケアプラザに来た方々はデイサービスや館内を見学したり、入口に設置している介護予防のチラシを手にし、参加の検討をしている方の姿も見えました。

また音楽好きな人たちの集まりなので、はじめて来た人同士でもすぐに会話が弾んでいたようです。その後旭区内、また他の区のケアプラザからの見学者も多く続きました。

## 今後の展開

今回「くつろぎカフェ」の成功例から、地域の人が集まるきっかけを知ることができました。この例を参考に地域の中でも人が集まれる場所作りを目指します。

具体的な活動としては地域の連合や社協と協力して、地域の方が地域の中で気軽に立ち寄り気軽におしゃべりが出来る場所の提案をしていきたいと考えています。

## コーディネーターのポイント

- ・団塊の世代以上の男性に何が受け入れられるか？
- ・地域全体の生活レベルはどのような感じか？
- ・方針が決まったとき費用をかけずどこで資源(レコード・ステレオ・テーブル等)を集めるか？

## 事業課題

### ■スタート後の課題とその解決策

- ・あまりの人気で多目的ホールに入れない人があったため、ボランティアルーム・地域ケアルームにも寄付して頂いたステレオを設置しました。
- ・グループだけでおしゃべりしながら音楽を楽しみたい方、一人だけで音楽を楽しみたい方は、ご希望に合わせて小さな部屋を利用していただきました。
- ・司会進行役やお手伝いは、元職員や施設利用のボランティアさんをお願いしました。
- ・ニーズに合わせ、開催時間を13:00~14:30(午後1)から、13:00~17:00(午後1・2)まで延長しました。

### ■今後気になること

機材が古いため、メンテナンスが大切と考えています。



「人と人をつなげる・・・」コーディネーターは地域に向けて幅広い仕事(活動)を行います。地域の方が引き込まれず仲間作りの場になればと思っています。ノーマライゼーションを目指した地域作りを心がけています。